

赤かび病の発生を防ぐため、開花期に薬剤防除を確実に実施しましょう。なお、開花期以降、曇雨天が続く場合は、追加防除を実施しましょう。

現在の状況

- 5月14日現在、岩手県農業研究センター圃場（北上市）の小麦は出穂中であり、概ね8～10日後には開花期を迎えると予想される（表1）。

表1 小麦の生育状況（岩手県農業研究センター（北上市））

品種	出穂期			開花期		
	H30	平年	(参考) H29	H30	平年	(参考) H29
ナンブコムギ	(5/17頃)	5/17	5/16	(5/25頃)	5/25	5/22
ゆきちから	5/14	5/14	5/13	(5/23頃)	5/23	5/21

※（ ）は今後の気温が平年並に推移した場合の予想

防除対策

- 赤かび病菌は開花した穂に感染する。このため開花始期～開花盛期の防除が最も効果的である。
- 表2に基づき適期に薬剤防除を実施する。特に、赤かび病抵抗性「やや弱」品種（ゆきちから）では、開花期と1回目散布の7～10日後の2回防除を徹底する。
- 開花期以降、曇雨天が続く場合は、基本防除（表2の必須）に加え、1週間後に追加防除を実施する。
- 成熟する前で穂が緑色の時期は罹病穂を識別しやすいので、この時期に抜き穂を行い、赤かび粒の混入回避に努める。
- 耐性菌を生じさせないため、同一薬剤は年1回の使用とする。

表2 小麦品種別の防除適期

品種名	赤かび病抵抗性	防除適期		
		開花期 (1回目散布)	1回目散布の7～10日後 (2回目散布)	2回目散布の7～10日後
ナンブコムギ 銀河のちから	中	必須	状況に応じて追加散布	—
ゆきちから	やや弱	必須	必須	状況に応じて追加散布

【利用上の注意】

- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際には、(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳 を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

アドレス <http://i-agri.net/>